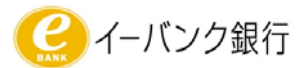


2009年度第3四半期 決算参考資料

2010年2月12日
イーバンク銀行株式会社

1.業績サマリー(管理会計による参考資料)



■基礎収支の推移(2008年度第3Q～2009年度第3Q)

(単位:百万円、単位未満切捨て)

項目名	2008年度		2009年度			前年同期比
	第3Q	第4Q	第1Q	第2Q	第3Q	
決済事業	1,248	1,523	1,222	1,229	1,217	▲2.49%
カード事業	▲72	56	21	282	405	-
金融商品事業	587	455	484	470	480	▲18.27%
その他	28	16	▲8	23	47	66.34%
手数料関連収支 ①	1,793	2,051	1,720	2,005	2,150	19.95%
運用関連収支 ②	732	673	966	1,302	1,510	106.19%
営業経費 ③	2,985	3,020	2,766	2,835	2,808	▲5.94%
基礎収支(ローン事業除く)(①+②-③) ④	▲459	▲295	▲79	472	853	-
ローン事業基礎収支 ⑤	-	-	275	336	452	-
基礎収支合計(④+⑤) A	▲459	▲295	196	809	1,305	-
非基礎収支 B	▲12,509	1,432	▲164	▲1,380	59	-
経常利益(A+B)	▲12,969	1,136	31	▲571	1,365	-
手数料基礎収支(①-③)	▲1,192	▲969	▲1,045	▲829	▲657	-
基礎収支合計(月次平均)	▲153	▲98	65	269	435	-

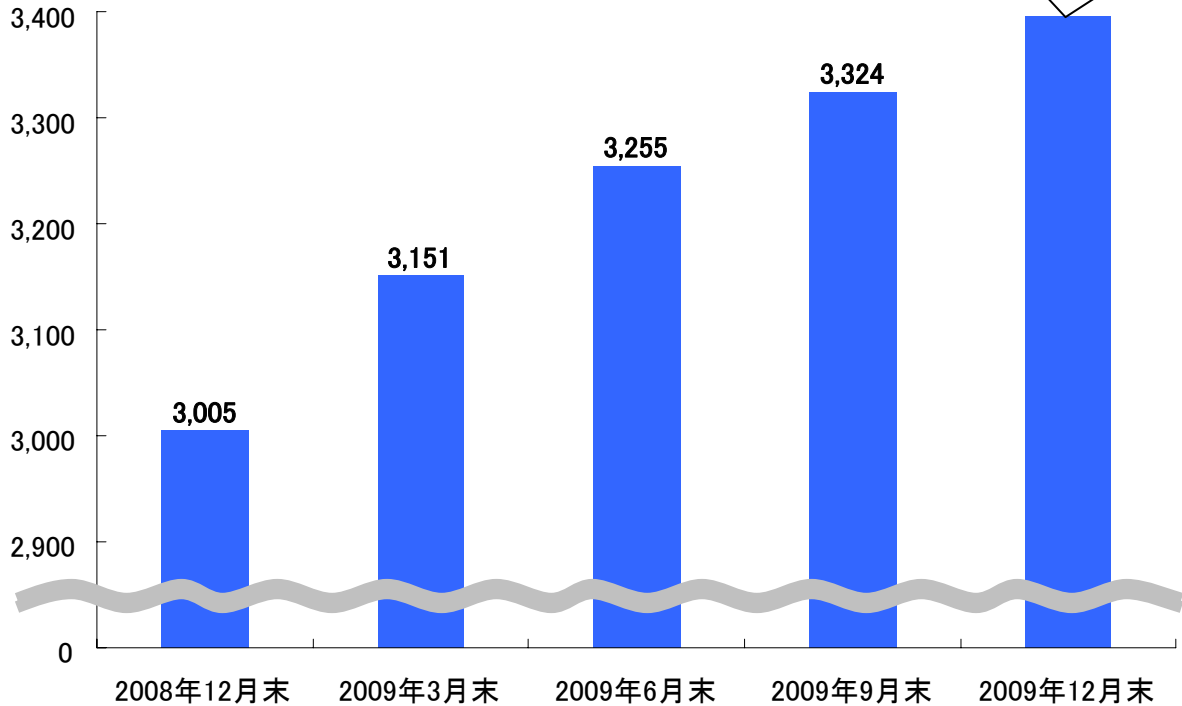
～用語の説明～

- ・基礎収支＝経常損益より投資運用の時価変動・売却等により発生した損益等を控除したもの。投資等による一時的な損益以外の本業での収支。
- ・非基礎収支＝投資運用の時価変動・売却等により発生した損益等による収支。

2.口座の状況

■口座数推移

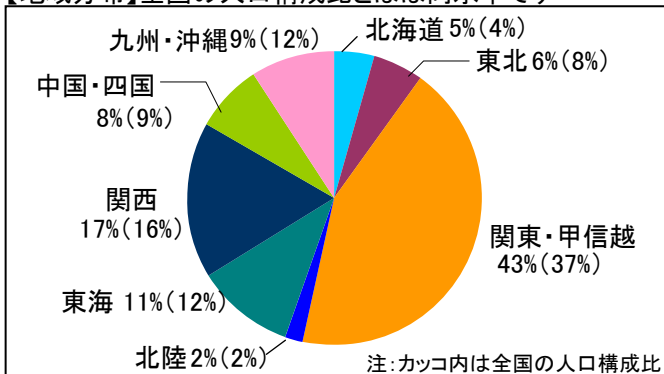
(千口座)



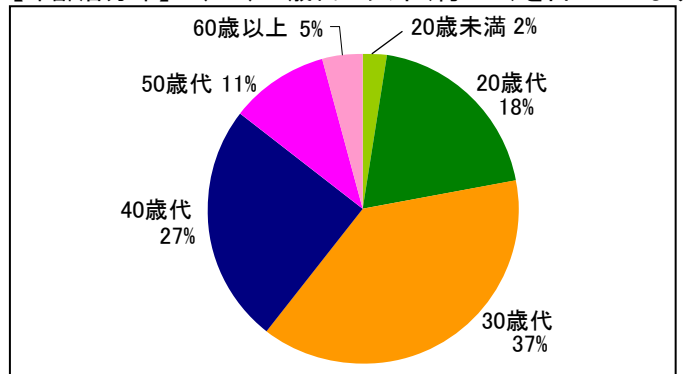
注: 上記「口座数」は、個人および法人の口座開設承認数の累計ベースで算出(解約件数を除く)

■個人口座の分布状況 (2009年12月末現在)

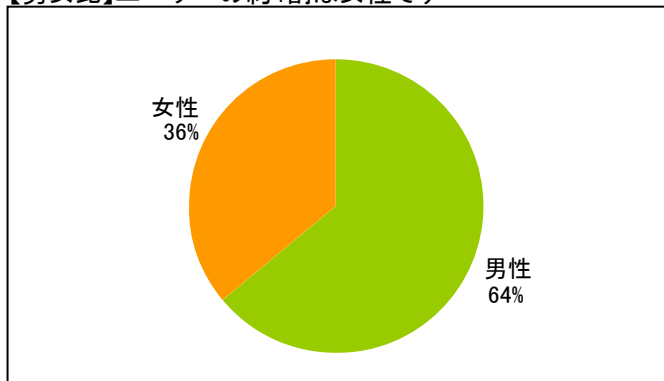
【地域分布】全国の人口構成比とほぼ同水準です



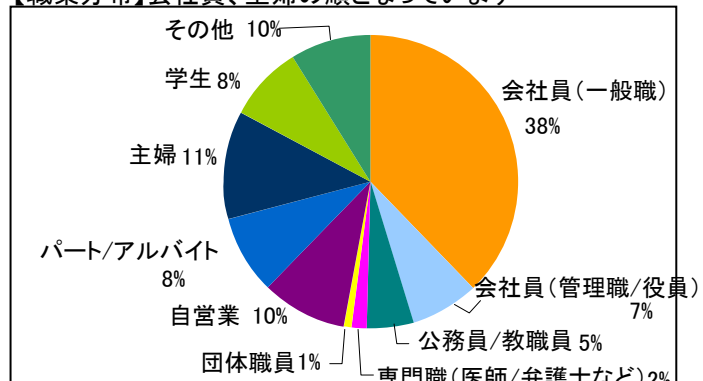
【年齢層分布】20、30、40歳代が大半(約82%)を占めています



【男女比】ユーザーの約4割は女性です

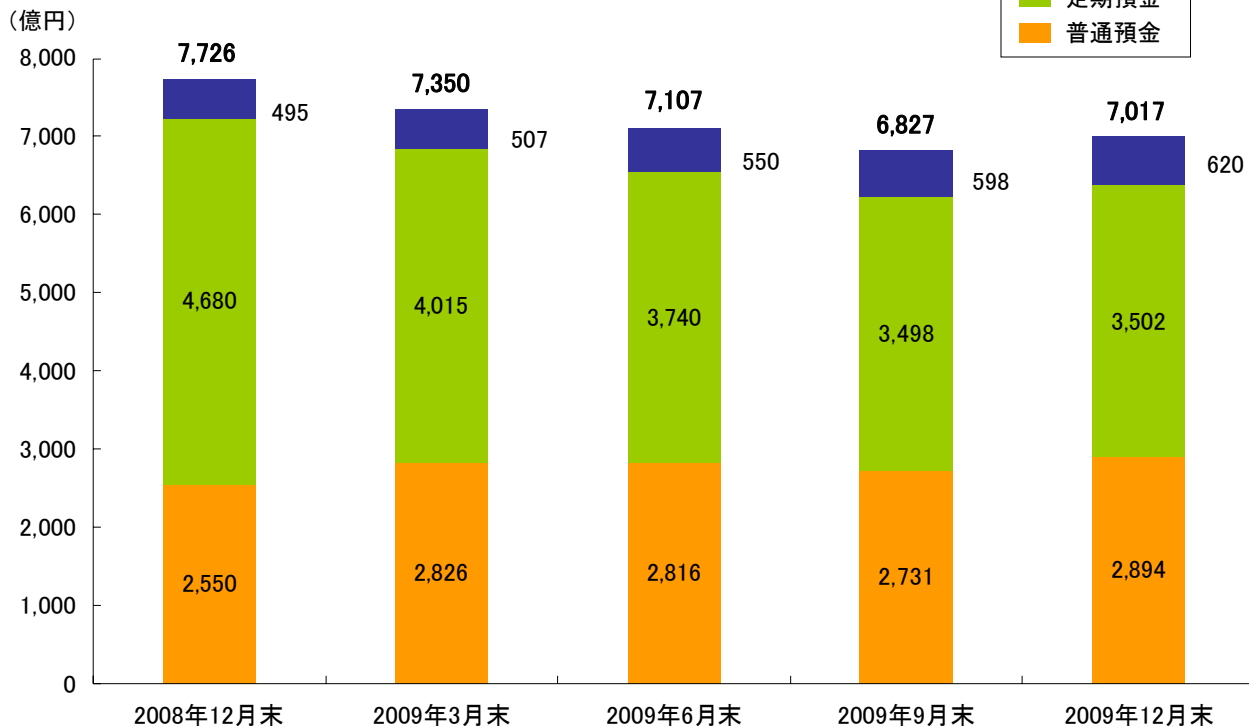


【職業分布】会社員、主婦の順となっています



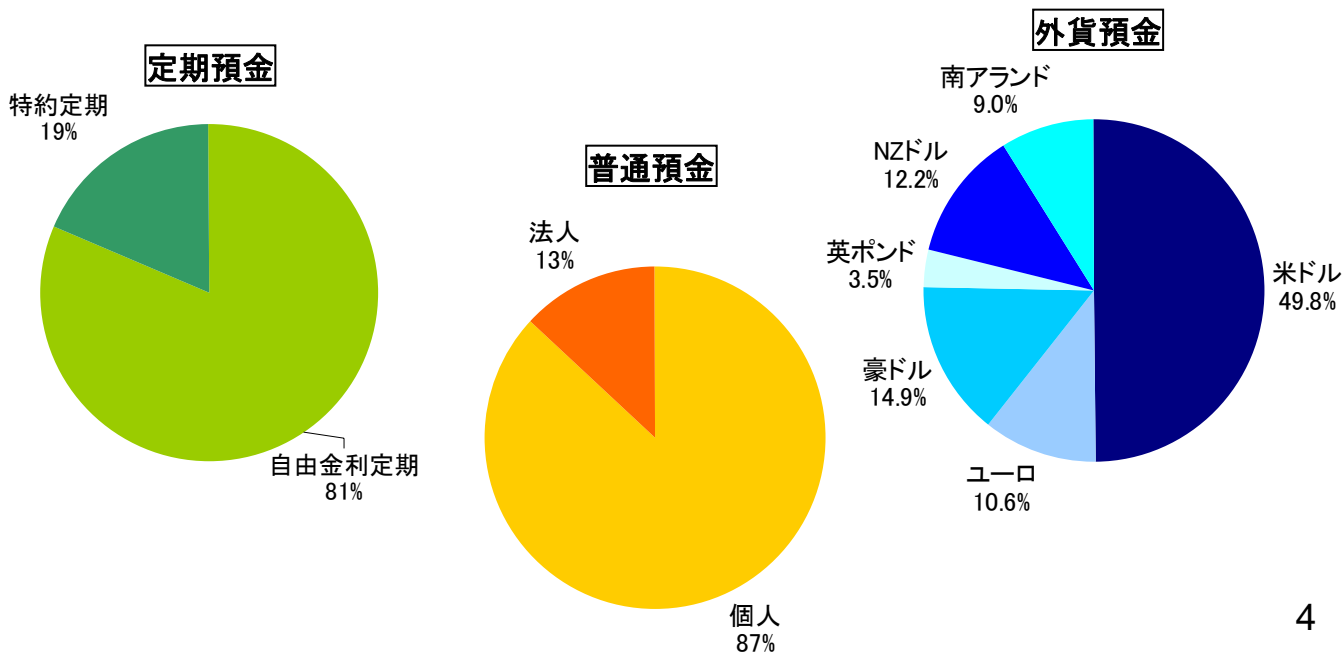
3.預金の状況

■ 預金残高推移



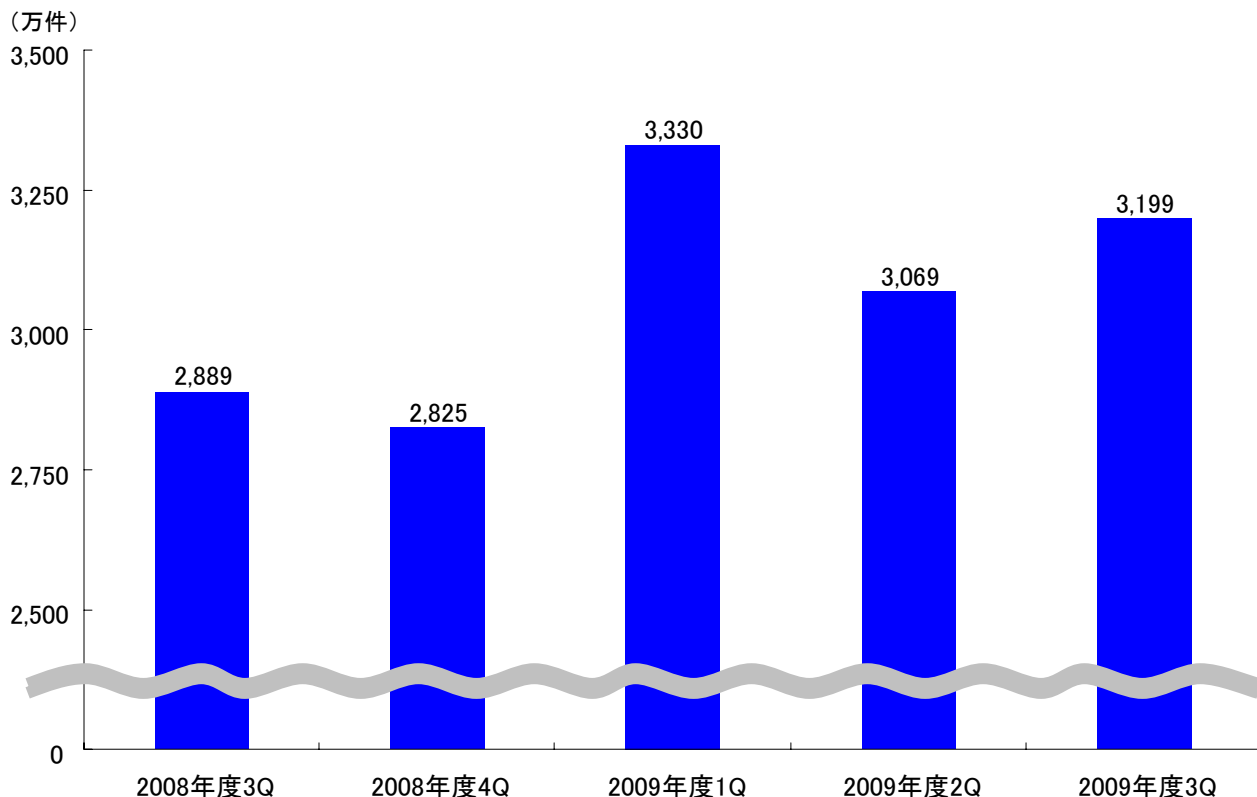
注1: 上記「預金残高」は単体ベース
 注2: 普通預金は「その他預金」を含む
 注3: 外貨預金は外貨普通預金及び外貨定期預金の合計

■ 預金内訳 (2009年12月末現在)

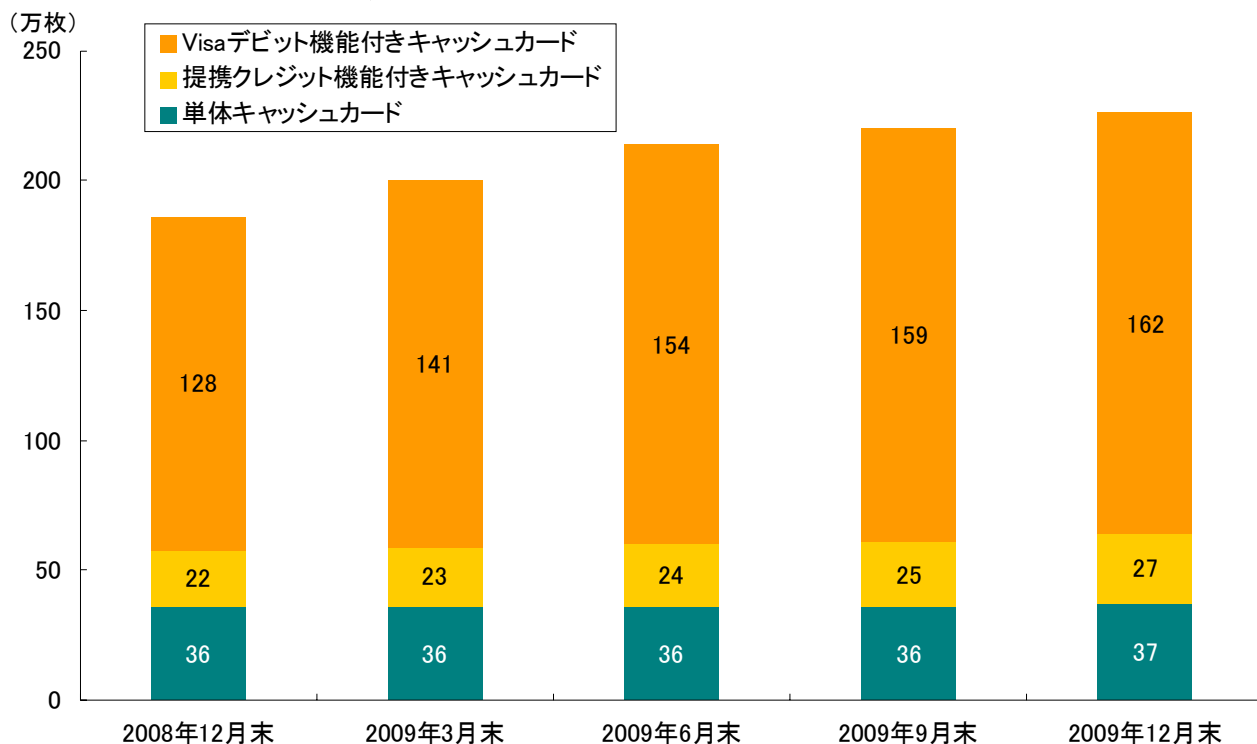


4. 決済サービスの状況

■ 決済件数推移



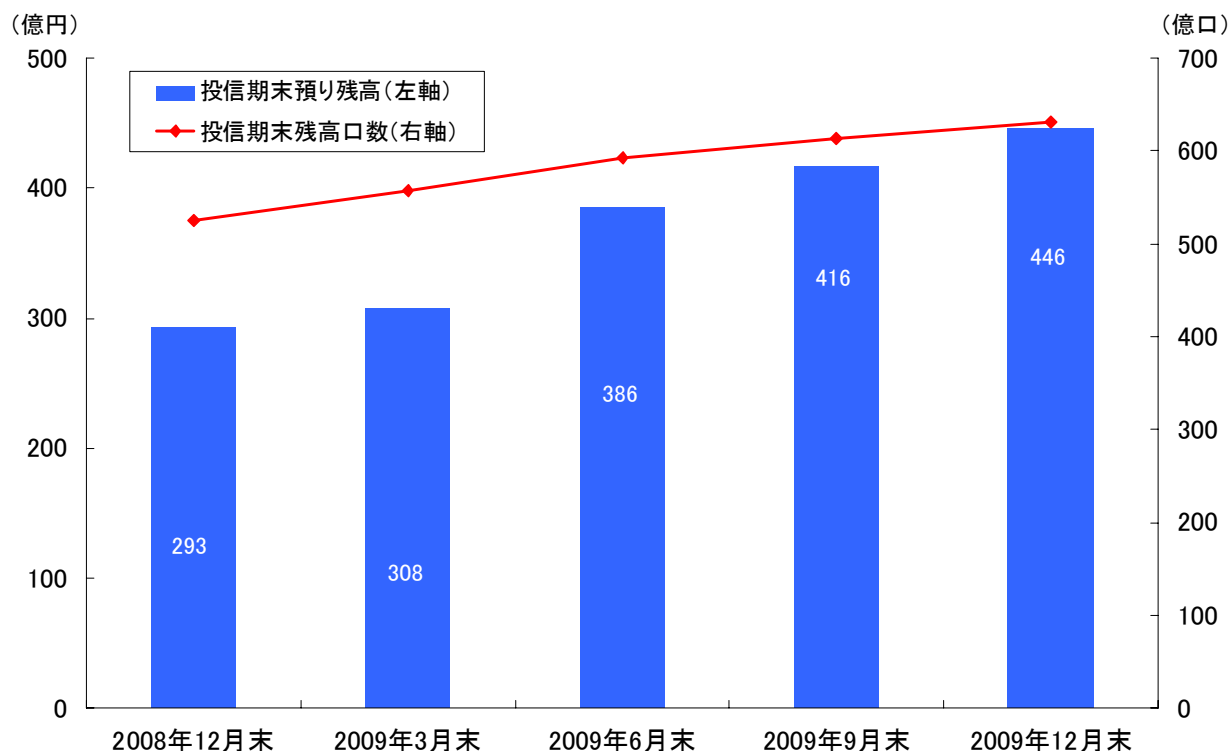
■ 累計カード発行枚数推移



注: 提携クレジット機能付きキャッシュカードの発行枚数は、「楽天イーバンクカード」「イーバンクカードOMC」及び「イーバンクカードジョーズ」の合計枚数

5. 金融商品の状況

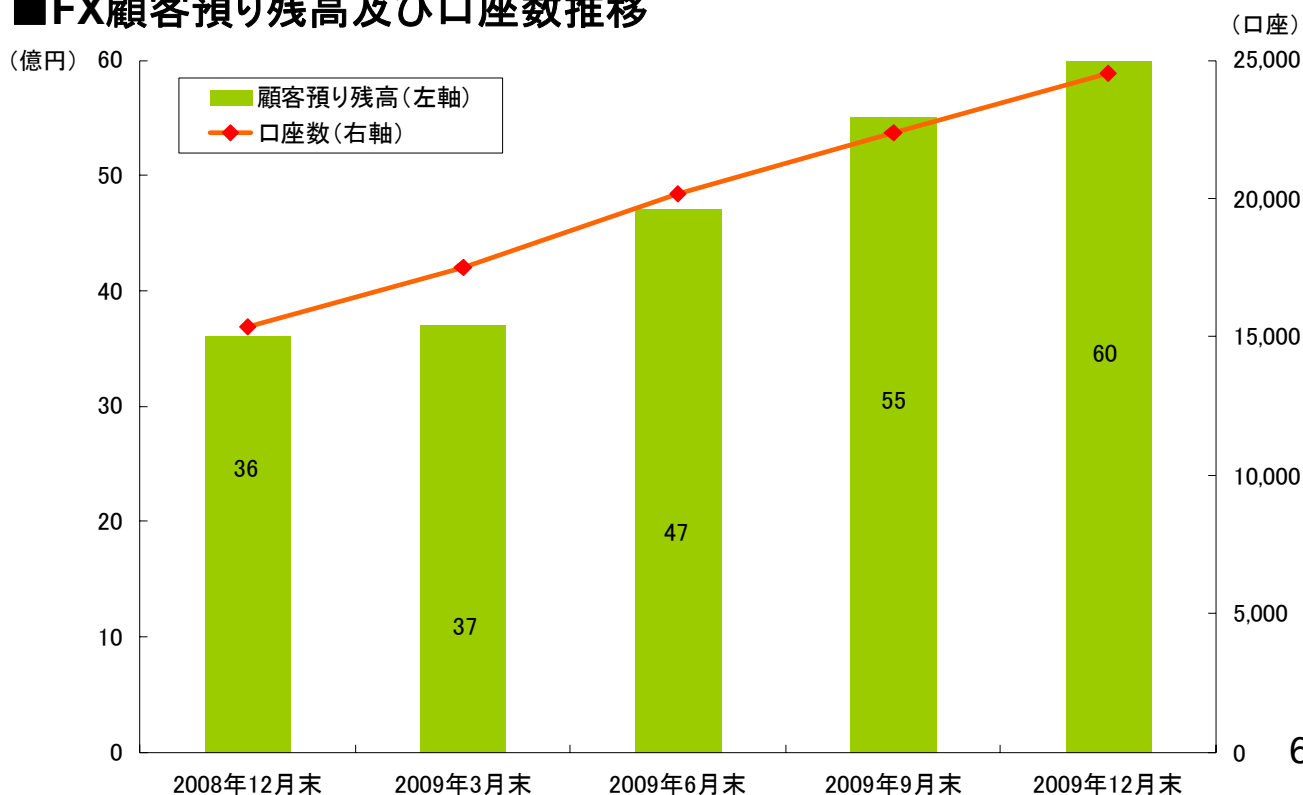
■ 投資信託預り残高及び残高口数推移



取扱本数	292 (70)	296 (71)	296 (71)	298 (72)	301 (69)
------	-----------	-----------	----------	----------	----------

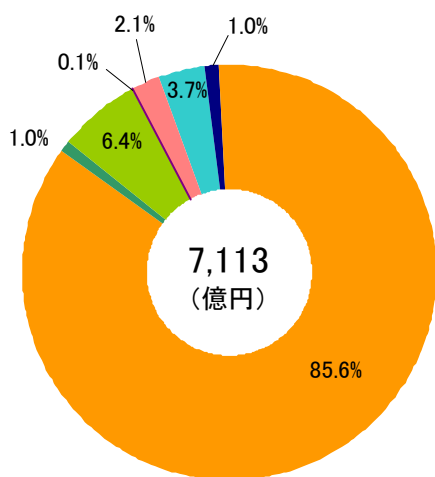
注1: ()内はノーロード投信の取扱本数

■ FX顧客預り残高及び口座数推移

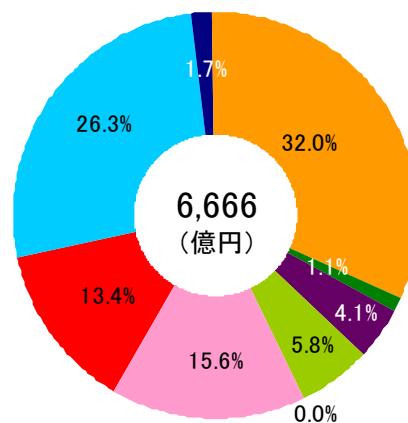
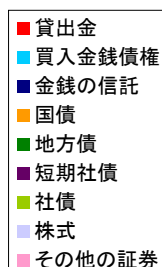


6.運用の状況

■運用資産内訳



2008年12月末



2009年12月末

注1: 上記「運用資産」は単体ベース

注2: 「その他の証券」には外国債券(含むCDO)及び外国株式を含む

注3: 「金銭の信託」にはファンドオブファンズを含む

■保有証券化商品等の状況

(単位: 億円、単位未満切捨て)

	2009/3末 時価残高	2009/12末 時価残高	増減額	含み損益 (B/S計上額)
証券化(金銭債権信託受益権)	640	1,735	1,094	3
ファンド等	146	94	▲51	▲0
ヘッジファンド	98	57	▲40	▲0
その他	48	37	▲10	0
証券化(不動産)	377	301	▲76	▲11
私募ファンド(時価無し)	186	134	▲52	-
CMBS(時価有り)	191	167	▲23	▲11
CDO 注1	20	39	19	▲0
合計	1,185	2,170	985	▲8

注1 CDOは2009年4月に既存保有のCDO約20億円を償還したが、残存したCDOの評価増、及び2009年5月に日本銘柄最優先部分(格付AA)30億円を新規購入したことにより増加。

7. 2009年度第3四半期のトピックス

10月

- ・投資信託、外貨預金、FXの「円高祭り 資産運用キャンペーン」を実施。
- ・フィリピン台風、サモア地震津波、スマトラ沖地震の被災者義援金受付口座を開設。募金総件数:1,293件、義援金総額:2,034,753円。

11月

- ・投資信託の購入が簡単にできるダイレクトログイン機能を提供開始。

12月

- ・新型定期預金、投資信託、外貨預金、FXの「冬のボーナスキャンペーン」を実施。新型定期預金の金利上乘せキャンペーンでは、預入金額が前3か月平均のほぼ2倍に。
- ・イオン銀行とのATM提携を開始。キャッシュカードおよびマイワンカードが365日いつでも、イオン銀行ATMで利用可能に。
- ・新たに4本の投資信託を取り扱い、合計301本のラインアップに拡大。

8. 今後の予定

3月

- ・お預かり資産残高や各種サービスのご利用状況に応じて様々な特典を受けられる顧客優遇プログラム「イーバンク銀行ハッピープログラム」を3月1日より開始予定。

5月

- ・5月4日に「イーバンク銀行」から「楽天銀行」へ商号変更予定。

